

## ◎キルギス共和国とモンゴル国の研修員訪問

国際協力機構（JICA）の技術支援プロジェクトで、キルギス共和国とモンゴル国の研修員 10 名が岐阜大学工学部附属インフラマネジメント技術研究センター（CIAM）を訪問され、橋梁などのインフラ施設の維持管理に関する先進的な取り組みを学ばれた。

平成 26 年度後期社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座：フィールド実習「表面波探査」を見学した後、CIAMの副センター長である沢田和秀教授よりME養成に関して説明を受けました。

両国の道路橋の大部分は旧ソビエト連邦の支援によって建設されたもので、老朽化が進み、その多くがリハビリ工事や補強工事、取替工事などの時期を迎えている。これまで橋梁の維持管理業務は、小規模補修や緊急補修にとどまることが多く、予防的・計画的な維持管理は十分に行われてこなかった。また、橋梁の維持管理を担う道路管理組織の職員も予防的・計画的維持管理に関する専門知識が不足しており、担当職員の育成が喫緊の課題とされている。限られた時間でしたが、今回の訪問は大変有意義だとコメントをいただきました。

